

法蔵館書店ニュース 10月

目次

話題の本	P1
法蔵館新刊案内	P2
法蔵館重版案内	P3
法蔵館刊行予定案内	P3~4
法蔵館書店新着案内	P4~15

特集1:報恩講に向けて	P16~17
特集2:宗教問題再考	P18
お知らせ	P19
法蔵館書店ベスト10	
メール配信サービスご案内	P20

★お知らせ★ 10、11月の書店休業日

10月のお休み:2日・9日・16日・23日・30日

11月のお休み:6日・13日・20日 ※27(日)は営業いたします。

話題の本

●宗教研究 404号(2022/9/30)

『日本仏教と西洋世界』

【龍谷大学アジア仏教文化研究叢書12】

嵩 満也、吉永進一、碧海寿広編

四六判・366頁・2,530円(5559)

『「悪」と統治の日本近代

—道徳・宗教・監獄教誨—

繁田真爾著・A5判・375頁・5,500円(5558)

●図書新聞(2022/9/17)

『憑霊信仰と日本中世社会』

【岡山大学文学部叢書1】

徳永誓子著・A5判・296頁・3,850円(6071)

●図書新聞(2022/9/10)

『東アジア宗教のかたち

—比較宗教社会学への招待—

櫻井義秀著・四六判・340頁・2,750円(7757)

●京都、宮崎日日、山陰中央、神戸新聞(2022/9/3)

●琉球新報[朝刊]、下野新聞(2022/8/28)

●沖縄タイムス[朝刊](2022/8/27)

●北日本新聞[朝刊](2022/8/27)他多数掲載!

『梅原猛と仏教の思想』

菅原 潤著・四六判・256頁・1,980円(5570)

●中外日報(2022/9/2)

『江戸初期の四国遍路

—澄禅『四国辺路日記』の道再現—

柴谷宗叔著・B5判・345頁・9,350円(5694)

●日本歴史 9月号(2022/9/1)

●佛教史學研究 第63巻 第2号(2022/8/31)

『祇園祭千百五十年記念

中近世祇園社の研究』

下坂 守著・A5判・782頁・19,800円(6266)

●佛教史學研究 第63巻 第2号(2022/8/31)

『親鸞の信と実践』

【筑紫女学園大学人間文化研究所叢書】

宇治和貴著・A5判・320頁・3,300円(3844)

『親鸞とマルクス主義

—闘争・イデオロギー・普遍性—

近藤俊太郎・A5判・544頁・8,250円(5565)

●毎日新聞夕刊(2022/8/20)

『なぜ人は

カルトに惹かれるのか

—脱会支援の現場から—

瓜生 崇著・四六判・214頁・1,760円(8779)

3刷

◆近代仏教教団と戦争——日清・日露戦争期を中心に

小林悖道著・A5判・492頁・7,150円・ISBN:978-4-8318-5568-8

【仏教史／近代】

公権力の庇護を失った仏教教団が国家との関係を再構築すべく取り組んだ「戦時事業」を分析し、仏教教団（近代化）への道程を跡づける。

■目次

序 章

第一節 研究史の整理と問題の所在

第二節 研究対象

第三節 本書の構成と各章の課題

【第Ⅰ部 諸制度と「戦時事業」の全体像】

【第Ⅱ部 「戦時事業」の具体相】

終 章 「戦時事業」から見る仏教教団の「近代化」

ほか

ためし読み



◆親鸞伝の史実と伝承

草野顕之著・四六判・249頁・2,090円・ISBN:978-4-8318-6271-6

【日本史／仏教史】

何が史実で何が伝承なのか？ 人々は親鸞のどのような姿を後世に伝えようとしたのか。伝承を史実に照らし合わせることで、親鸞伝の諸相を明らかにする。

■目次

はしがき

第一章 親鸞の俗姓

第二章 吉水入室と六角夢想

第三章 親鸞と恵信尼の結婚

第四章 親鸞越後配流の背景

第五章 越後・関東の親鸞伝承

第六章 親鸞の伊勢参宮伝承

第七章 親鸞の示寂地について

ほか

ためし読み



POD版は下記インターネット書店でのみ購入できます。

Amazon・三省堂書店オンデマンド・楽天

◆POD版 仲野良俊著作集

仲野良俊著・A5判・各8,250円〔分売可〕

ISBN:978-4-8318-9329-1、9330-7

親鸞浄土教の現代的意義を、大乘仏教の根本思想から明確に解き明かした仲野教学待望の集大成。

第12巻 阿弥陀経講義Ⅰ

276頁

第13巻 阿弥陀経講義Ⅱ

368頁

【仏教／真宗】

ためし読み



※第13巻のためし読みは
法藏館ホームページへ

法蔵館重版案内

◆真宗勤行聖典

20刷 【仏教／真宗】

川島眞量監修・B6変判・398頁・2,750円・ISBN:978-4-8318-9006-1

大谷派經典。昭和法要式、偈文、正信偈、三帖和讃全部、御文全部など勤行のすべてを収録。年中行事など付録。

■目次

昭和法要式

正信偈

念佛和讃

回向

三帖和讃

三帖和讃索引

文類偈

報恩講和讃

改悔文

歎佛偈

三誓偈

願生偈

十四行偈

往生禮讃

経後念佛

式間念佛

伽陀

御文

ほか



◆門徒ものの知り帳 上

—— 仏事と聞法一〇〇のなぜ？

26刷 【仏教／真宗】

野々村智剣著・仏教文化研究会編・四六判・108頁・935円
ISBN:978-4-8318-8961-4

わからないこと、はっきりしないことの多い仏事の作法。ふつと感じる素朴な疑問に明解に答えてくれる便利なガイドブック。楽しく読めてためになる。一家に一冊の必読書。

■目次

『門徒ものの知り帳』とは

「お経」とは何か／真宗のお経「浄土三部経」とは／真宗の「お聖教」とは／親鸞聖人の主な著述は／ ほか



法蔵館刊行予定案内

〈2022年11月 刊行予定〉

◆現代語訳 南海寄帰内法伝

法蔵館文庫

—— 七世紀インド仏教僧伽の日常生活

【仏教】

義浄撰・宮林昭彦、加藤栄司訳・文庫判・800頁・2,750円・ISBN:978-4-8318-2643-5

7世紀のインドの僧侶は何を食べ、どんな生活をしていたのか。唐の僧・義浄がインドと中国の戒律を比較して記した第一級の留学レポ。

◆日本人の身体観の歴史

法蔵館文庫

養老孟司著・文庫判・384頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-2642-8

【哲学／思想】

日本の中世、近世、そして現代哲学の心身論から、さらには西欧の身体観まで論じる。固定観念を揺さぶり、常識をくつがえし、人と世界の見方を一変させる、養老「ヒト学」の集大成。

◆精神世界のゆくえ 法蔵館文庫

—— 宗教からスピリチュアリティへ

島 蘭 著・文庫判・528頁・1,650円・ISBN:978-4-8318-2641-1

【宗教学】

なぜ現代人は「スピリチュアリティ」を求めるのか。宗教や科学に代わる新しい思想を網羅的に分析し、変容する精神文化の実態に迫る。

◆清水寺 成就院日記 第7巻

清水寺史編纂委員会編・A5判・予400頁・9,900円・ISBN:978-4-8318-5157-4

【日本史】

京都・清水寺の門前町の行政を記録した江戸時代の約170年分の公用日記。第7巻は宝暦9～14年までを収録。

◆寺、再起動——「ゾンビ寺」からの脱出!

星野 哲著・四六判・158頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-8793-1

【仏教】

寺と社会の間に溝ができ、人々から期待されなくなったのはなぜか? 多くの寺院・僧侶を取材する中で見えてきた、寺を取り巻く状況と今後の可能性について切り込む。

シリーズ宗教と差別(全4巻) 監修＝磯前順一・吉村智博・浅居明彦

◆第3巻 差別の地域史——渡辺村からみた日本社会

小倉慈司、西宮秀紀、吉田一彦編・A5判・予300頁・予価3,080円

ISBN:978-4-8318-5723-1

【宗教／社会】

江戸時代から皮革業の中心地として栄えていた大阪の被差別部落・渡辺村とは——。坐摩神社や真宗寺院との関係、東アジア圏での活発な交易など、その謎に満ちた歴史に迫る。

法蔵館書店新着案内

◆歎異抄手帳

五木寛之訳、五木玲子画・B6変版・191頁・1,650円〈東京書籍〉

親鸞の言行をまとめ、その思想を知る上で極めて重要な宗教書として読まれている『歎異抄』。戦中戦後の絶望的な著者の人生を救った永遠の名著を、氏自身が渾身の新訳で挑み、長く読み継がれている名著『私訳歎異抄』のポケットサイズ版が登場。新たに「見出し」「脚注」が加わり、五木玲子の絵が全編を彩ります。巻末解説では、釈徹宗が五木私訳の魅力を解き明かします。

■目次

「私訳 歎異抄」まえがき

私訳 歎異抄

歎異抄 原典

解説(釈 徹宗)



◆月々のことば(2023年版)真宗教団連合法語カレンダー

河智義邦・黒田義道・能美潤史・宮部雅文著・B6判・169頁・770円〈本願寺出版社〉

『法語カレンダー(2023年版)』の月々の法語のころを河智義邦(岐阜聖徳学園大学教授)、黒田義道(京都女子大学教授)、能美潤史(龍谷大学准教授)、宮部雅文(本願寺派布教使)の各氏が分担執筆。『法語カレンダー』に選ばれた珠玉のお言葉のころを、繰り返し味わっていただくことができる法味愛楽の書。

■目次

表紙のことば～3月のことば……河智義邦
4月のことば～6月のことば……黒田義道
7月のことば～9月のことば……能美潤史
10月のことば～12月のことば……宮部雅文



◆心に響くことば(2023年版)令和5年カレンダー法語解説冊子

中川清昭著・新書判・93頁・132円〈本願寺出版社〉

浄土真宗のみ教えを味わうことのできる法語を掲げた『法語カレンダー(2023年版)』。その法語それぞれにやさしい法話を付した施本向きの小冊子。短編法話13編で構成されており、法語カレンダーをより深くあじわえる一冊。

■目次

表紙 親鸞聖人の出現は 私一人のためであった
一月 この世のことは 何事も何事も お念仏の助縁
二月 世の中に 最も度し難いものは 他人ではない この私
三月 こころにじごくがあるよ ひにちまいにち ほのをかもえる ほか



浄土真宗本願寺派総合研究所ブックレット27

◆別離の悲しみとともに生きる——痛みを知ること

浄土真宗本願寺派総合研究所編・A5判・241頁・1,320円〈本願寺出版社〉

2015年から2019年まで5回にわたり開催された「別離の悲しみを考える会」の開催記録(講演者:有国智光・遠山玄秀・寺戸淳子・磯前順一・島蘭進)。

家族を亡くされた人や東日本大震災の被災者の思いから、死者との関わりやグリーフケアについて、体験者はもとより各分野の専門家、宗教者が語る。

■目次

第1章 死んでいくこと、生きるということ
第2章 息子からのギフト～死産の経験があったからこそ～
第3章 「いのちの弱さ」との仲直り～病・障・老・死と共に生きる～
第4章 Without You～あなたのいない世界を生きて～ ほか



構築された仏教思想11

◆蓮如——ともに泣く求道者

佐々木隆晃著・B6判・141頁・1,760円〈佼成出版社〉

蓮如(れんにょ 1415~1499)は、室町時代の本願寺教団を急拡大させた浄土真宗中興の祖。
時代は「戦国」のはじめ。波乱の時代にあって、イデオログとして、また信仰者としてどう生きたかを明らかにし、その思想性を最新の学術研究を紹介しつつ迫る。

■目次

- 第一章 法然・親鸞から蓮如
- 第二章 蓮如の生涯
- 第三章 蓮如思想の特質
- 第四章 「御文章(御文)」の世界



◆赤光 2・3

2・3同時発売

福岡義朝著・四六判・②131頁、③128頁・各1,430円〈探究社〉

前著『赤光』の続編となる本書に掲載されている法話は過去においてその時、その時に感じた著者の思いや時事的な事柄を元に記されている。どの法話も難しい仏教用語は使用されておらず、気軽に読み進められる内容となっている。

■目次

- ②アーミッシュ／泥のついたお札／はやく人達をたすけてください／病院ラジオ／共命鳥／償い／硫黄島からの手紙 ほか
- ③ある披露宴での話／今私があることの驚き／臨終勤行と通夜／レイテ島からの葉書／毎日四万の人が飢えて死んでいる／死を超えて／暴風雪の中の父と娘 ほか



◆法然上人二十五霊場への誘い

山本博子著・四六判・236頁・1,980円〈東方出版〉

江戸時代から約250年、連綿と続く法然上人二十五霊場。霊場巡拝に関わる様々な事柄を解説。
寺院風景・御影の刷物・御朱印など写真95点を収録。
今まで知られなかった「法然上人二十五霊場」を垣間見てはいかがでしょうか？

■目次

- 第一章 法然上人二十五霊場の成立
- 第二章 法然上人二十五霊場と番外の札所
- 第三章 法然上人二十五霊場の展開



◆近江の聖徳太子——縁起・伝説の世界を訪ねる

大沼芳幸著・四六判・158頁・1,980円〈海青社〉

日本で最も多く聖徳太子に関する歴史文化遺産が伝えられる近江。それらは『日本書紀』等の史実からではなく、太子信仰の中で生み出された、近江の事実としての聖徳太子。近江の風土に宿る聖徳太子に関する文化遺産を33件厳選して紹介。

■目次

はじめに

アクセスマップ

聖徳太子の縁起を伝える寺院数のグラフ

第一章 近江の聖徳太子 概説

第二章 縁起・伝説の世界を訪ねる ほか



第三文明選書18

◆摩訶止観(Ⅰ)

菅野博士訳註・新書判・295頁・2,420円〈第三文明社〉

天台大師・智顗(ちぎ)の代表作『摩訶止観』。本書は、詳細な語注を付した全文の訓読訳(全4冊のうちの第1巻)。「摩訶止観」は、『法華玄義』『法華文句』と合わせて「天台三大部」と呼ばれるが、本書全4冊刊行時には、本邦初の「天台三大部」個人訳が完結となる。

■目次

摩訶止観 卷第一上

摩訶止観 卷第一下

摩訶止観 卷第二上

摩訶止観 卷第二下

摩訶止観 卷第三上



◆日蓮遺文の思想的研究

大平宏龍著・A5判・501頁・8,800円〈東方出版〉

日蓮遺文研究の現在を問う。日蓮の教学思想研究史上、本尊論等まだ定説をみない諸問題に対して、学問的仮説を提示する諸論文集。未発表の論文3篇も収録(本篇第5・10・12論文)。事項索引／人名索引／書名・論文名索引を付す。

■目次

1 『観心本尊抄』管見—佐渡塚原と一谷の間—

2 『観心本尊抄』本門法体四十五字中の「己心」について

3 『本尊抄』と『小乗小仏要文』—本門八品正意論に関して—

4 日蓮遺文管見—「内証の寿量品」をめぐる— ほか



◆栄西を生きる

ひろさちや著・四六判・196頁・1,650円〈佼成出版社〉

日本臨済宗の祖・栄西(1141-1215)の生涯と思想を紹介しながら、その生き方や考え方が現代に生きる私たちにどのような示唆を与えてくれるかを解明する。

「いかにして仏教を人生に活かすか」を探究してきた著者の思索の集大成。

■目次

- | | |
|-------------|-----------|
| 第1章 栄西の人気 | 第5章 鎌倉と京都 |
| 第2章 第一回入宋 | 第6章 戒律の重視 |
| 第3章 第二回入宋 | 第7章 総括として |
| 第4章 『興禅護国論』 | |



◆禅の中世——仏教史の再構築

末木文美士著・四六判・330頁・3,630円〈臨川書店〉

南都焼討を乗り越えて、復興へ向かおうとする日本仏教史の転換点において、禅はどのように総合的な視座を獲得したのか。『中世禅籍叢刊』の編集刊行などを通し、新仏教対旧仏教、または顕密仏教対異端派といった二項対立的な見方を脱却し中世禅を捉えなおす必要を指摘してきた著者の研究の集大成となる一冊。

■目次

I 中世仏教の豊饒

- | | |
|--------------------------|----|
| 第一章 思想史の中の中世——王権と神仏の観点から | |
| 第二章 選択から総合へ——中世仏教観の転換 | |
| 第三章 中世仏教の形成——平安仏教から鎌倉仏教へ | ほか |



◆『無門関』全48則——〈あたりまえ〉に出会う禅問答

野村春眠著・四六判・332頁・2,200円〈佼成出版社〉

「人生に関所はなく、道は縦横に通じている」と、中国宋代に編纂された公案(禅の問題)集『無門関』はいう。

生後一歳で脊髄性小児麻痺を患った著者が、自らの禅道場(黄檗宗)での修行体験と徹底した思索に基づいて『無門関』全48則の公案を読み解く。

■目次

- 門のない関所——無門関
 犬の仏心——趙州狗子
 狐に生まれ変わった老人——百丈野狐
 指を切られた小坊主——俱胝豎指 ほか



◆鎌倉仏教史研究[岩波オンデマンドブックス]

高木 豊著・A5判・359頁・8,800円〈岩波書店〉

浄土教、禅仏教と並び立つ法華仏教を新展開させた日蓮の宗教と思想を中核にすえ、古代から中世への変革期の課題に応えようとした鎌倉仏教の総体的な把握を意図する。中世社会思想史構想に新しい展望を与えた名著。

■目次

第一部 鎌倉仏教における変革と伝統

- 1 鎌倉仏教の問題基盤
- 2 鎌倉仏教にみる変革と伝統
- 3 明庵栄西の興廃継絶—鎌倉仏教にみる伝統と変革
- 4 鎌倉新仏教における法華・涅槃經の受容 ほか



◆ティク・ナット・ハンの幸せの瞑想

——マインドフルネスを生きるプラムヴィレッジの実践

ティク・ナット・ハン 著・A5判・266頁・1,760円〈徳間書店〉

2022年1月に惜しまれつつご逝去された世界的な禅僧ティク・ナット・ハン師。世界にマインドフルネスを広めた禅僧による瞑想の実践教科書。心を体に戻し、本来の自分を生みだし、いきいきと生きるための、さまざまな実践を紹介する。「ブッダの幸せの瞑想」(サンガ)から、最新のプラクティスをアップデートした新版です。

■目次

- | | |
|------------|--------------------|
| 第一章 日常の実践 | 第四章 人間関係とコミュニティの実践 |
| 第二章 食べる実践 | 第五章 様々な実践 |
| 第三章 体を使う実践 | 第六章 子どもと一緒にする実践 |



◆対訳 英語で説明する仏教Q&A

ジェームス・M・バーダマン著・四六判・190頁・1,760円
〈IBC/パブリッシング〉

日本を訪れる外国人に「仏教」について英語で説明できる日本人はそう多くありません。本書では、外国人観光客が「仏教」について抱きそうな疑問について、誰でも活用できるようにバーダマン先生がシンプルな英文と日本語の対訳で解説します。

■目次

- | | | |
|-------------|---|----|
| はじめに | Foreword | |
| 〈日本の宗教入門〉概論 | Introduction | |
| 仏教 | Buddhism | |
| 神道と仏教のつながり | Connections between Shinto and Buddhism | ほか |



ちくま新書1678

◆西田幾多郎『善の研究』を読む

藤田正勝著・新書判・279頁・990円〈筑摩書房〉

仏教や儒教など、東洋の思想的な伝統も踏まえた広い視野で哲学の世界に新しい眺望を切り開いた、西田幾多郎の最初の著作『善の研究』。西田研究の第一人者が、西田の思考を丁寧に読み解き、語ろうとしたことを深く掘り下げる。

■目次

- 第1章 『善の研究』はどういう書物か
- 第2章 実在
- 第3章 善
- 第4章 宗教
- 第5章 純粹経験



◆井上円了——その仏教思想

竹村牧男著・四六判・416頁・3,960円〈青土社〉

教育者、思想家というだけでなく、仏教思想の行く末を真剣に考えぬいた仏教者、井上円了。その仏教復興への情熱と行動の足跡を丹念にたどり、哲学的に究明した仏教思想の全貌をあきらかにする、画期的な円了論の誕生。

■目次

- 第1章 井上円了と東本願寺
- 第2章 井上円了の仏教復興活動
- 第3章 井上円了の仏教観1—概観
- 第4章 井上円了の仏教観2—理論宗
- 第5章 井上円了の仏教観3—實際宗 ほか



◆神智学とアジア——西からきた〈東洋〉

吉永進一、岡本佳子、莊 千慧編著・A5判・255頁・4,180円〈青弓社〉

靈的な思想の要所にあり、アジアの宗教にも影響を与え、東西にまたがる活動をおこなった神智学運動。その越境性と分野横断的な営為、人為的な交流を、近代の帝国主義やメディアの発達なども踏まえて多角的に検証する。神智学運動をテーマにした日本初の論集。

■目次

- 第1部 勃興
 - 第1章 神智学略史——吉永進一
 - 第2章 二つの神智学協会——ジョン・パトリック・デヴニー
 - 第3章 弟子(チェウ)の肉体——赤井敏夫
- コラム バルト海からの仏教徒——井上岳彦 ほか



◆写経入門

田中塊堂著・文庫判・220頁・1,012円〈講談社〉

「真心をこめて綴れば、その一字ずつが仏になっていく」。

一滴の水と一磨の墨が生み出す「清浄無垢の心」。

写経所作の歴史的意味から『般若心経』の書写文字考察。

道具の選び方、毛筆の使い方をていねいに説明。

手本図版も豊富に掲載する。

■目次

- | | |
|-------------|------------|
| 1 写経とは | 5 信仰と信念 |
| 2 感謝の生活 | 6 清浄心 |
| 3 神と仏 | 7 写経のはじまり |
| 4 神仏混淆ということ | 8 写経の方式 ほか |



ちくま学芸文庫オ27-2

◆京の社——神と仏の千三百年

岡田精司著・文庫判・280頁・1,210円〈筑摩書房〉

下賀茂神社、八坂神社、伏見稲荷……。古代から近代まで、各時代を代表する個性豊かな京都の神社20社を選び、その歴史をわかりやすく解説。時代の流れの中で複雑に絡み合い変化してきた神と仏の1300年を鮮やかに描く。

■目次

- | | |
|-----|------------------------|
| 第一章 | 県主の神から王城鎮護の神へ——二つの賀茂神社 |
| 第二章 | 稲荷の翁と東寺——伏見稲荷大社 |
| 第三章 | 比叡山の鎮守 日吉山王権現——日吉大社 |
| 第四章 | 八幡大菩薩の宮寺——石清水八幡宮 ほか |



角川ソフィア文庫J135-2

◆民俗学がわかる事典

新谷尚紀著・文庫判・501頁・1,364円〈KADOKAWA〉

「なぜ敷居を踏んではいけないのか?」「ひな人形はなぜ3月3日を過ぎたら飾ってはだめ?」等、日本古来の習わしや不思議な言い伝え、民俗学の基本用語など全150項目超を解説。身近な謎から日本が見えてくる。

■目次

- | | |
|----------|----------|
| 民俗学への招待 | 身近な疑問から |
| 民俗学とは何か | 民俗学の基礎知識 |
| 不安と祈願の民俗 | 神仏と信仰 |
| 生死と靈魂の民俗 | 人生と儀礼 ほか |



◆摩多羅神——我らいかなる縁ありて

山本ひろ子著・A5判・384頁・3,850円〈春秋社〉

今に連なる、激動と驚異の宗教的・精神的運動の意味するものとは。ドラスティックな日本中世の世界、大寺の奥深く〈闇〉に鎮座する異神に光を当て、その由緒と霊性のありかを探り、あわせて日本の精神性を展望する。

■目次

- 第一章 摩多羅神と夢の女人——壇上遊戯としての恋
- 第二章 毛越寺の二十日夜祭
- 第三章 毛越寺の摩多羅神と芸能——「唐拍子」をめぐる
- 第四章 摩多羅神紀行——服部幸雄『宿神論』の向こうへ

ほか



王朝時代の実像5

◆陰陽道——術数と信仰の文化

山下克明著・倉本一宏監修・四六判・238頁・3,740円〈臨川書店〉

占術から祭祀へ、都市から地方へ、その発展のプロセスを明らかにする新たな陰陽道論。中国の術数や道教との関係、呪術宗教としての陰陽道の性格と位置づけ、さらには顕密仏教との関わりから陰陽道の概念・担い手・場の変容まで。従来の研究にはなかった視点で検討する。

■目次

- 序章 王朝時代の陰陽師像
- 第一章 術数と陰陽寮
- 第二章 陰陽道の成立過程
- 第三章 王朝貴族と陰陽道

ほか



◆日本の神々のぬり絵

安齊 将絵・橋本裕之監修・AB判・76頁・1,540円〈学研プラス〉

天照大御神、恵比寿、菅原道真……日本人の多くが崇敬する神々を、あなたらしい筆致や色合いでたっぷり描きこめるぬり絵の決定版。初心者でもすぐ始められるぬりかた説明や、本書に掲載された神々についての解説もあり、隅から隅まで楽しめる内容です。

■目次

- 本書の使い方
- ぬり方のコツ
- ぬり絵の見本
- 人生儀礼
- 「天照大御神」「日本武尊」「天宇受売命」

ほか



◆てきとう和尚が説く この世の歩き方

——心がスッと軽くなる40のお話

浦上哲也著・B6判・255頁・1,430円(PHP研究所)

4000人の人生を変えた「死の体験旅行」がメディアで話題の人気僧侶が語る、心が軽くなる実話ショートストーリーです。どこからでも読める本当にあった話に、お釈迦様の教えを交えながら紹介。1話3分で読めて、心がホッとできる1冊です。

■目次

- 第1章 自分を甘やかすのが苦手な人へ
- 第2章 相手がいるから、人は悩む
- 第3章 迷い、悩みつつも、一歩ずつ進む
- 第4章 マイナスがプラスに転じる時
- 第5章 それでも視線をちょっと上に向ける



星海社新書231

◆仕事がつらいときに読む仏教の言葉

光澤裕顕著・新書判・185頁・1,045円(講談社)

サラリーマン僧侶たる著者が、「緊張する」「失敗してしまった」「上司や部下に不満がある」といった誰もが経験する仕事の悩みに向き合う仏教の知恵を、マンガでわかりやすく、仏典で深く解説しました。

■目次

- 第1章 環境の変化
- 第2章 働くということ
- 第3章 くじけそうとき
- 第4章 人間関係
- 第5章 次のスタートへ



◆フッと心を軽くする仏教のことば

本間大智著・四六判・209頁・1,760円(春秋社)

輝け！お寺の掲示板大賞！仏教伝道協会賞(2019)、仏教タイムス賞(2021)を受賞するなど活躍中の著者が、不安を感じたときや人間関係に悩んだときなど5つのテーマにあわせて、心を軽やかに解放してくれる名言を、仏教のお経・僧侶・信者の言葉から選んでわかりやすく語る。

■目次

- 1 不安を感じたとき
- 2 人間関係に悩んだとき
- 3 人生や信仰、供養の意味を知りたいとき
- 4 自分自身を見つめたいとき ほか



◆現代日本の「看取り文化」を構想する

浮ヶ谷幸代、田代志門、山田慎也編・A5判・387頁・6,160円〈東京大学出版会〉

現代の日本で人はどこで、だれと、どのように最期を迎えるのだろうか。

だれもが直面するこの死と看取りに関する問いに、人類学・社会学・民俗学の立場から、そして医療やケアの実践の現場から迫り、読者と共に答えを見出そうとする試み。

■目次

- 第Ⅰ部 「死と看取り」研究の射程
- 第Ⅱ部 死にゆくことと看取ること
- 第Ⅲ部 最期を迎える場所
- 第Ⅳ部 コミュニティによる看取りの力



◆満州分村移民と部落差別

——熊本「来民開拓団」の悲劇

エイミー・ツジモト著・A5判・249頁・2,200円〈えにし書房〉

国策としての満州移民の欺瞞性を問う渾身のノンフィクション。被差別部落の分村移民、そして276名全員自決という悲劇的な結末を迎えた「来民開拓団」の実態を長年の取材によって明らかにする。ソ連兵への「性接待」で知られる黒川開拓団との関係など、貴重な史実多数。

■目次

- | | |
|-----------|----------|
| プロローグ | 第4章 破壊 |
| 第1章 めざめ | 第5章 対極 |
| 第2章 満州国 | 終章 灯影 |
| 第3章 来民開拓団 | エピローグ ほか |



◆ひとかけらの木片が教えてくれること

——木材×化学×歴史

田鶴寿弥子著・四六判・231頁・1,980円〈淡交社〉

人がいかに木と向かい合ってきたのかを、ひとかけらの木片が教えてくれる——。仏像・神像、狛犬、歴史的建造物から入れ歯まで、様々な文化財に用いられた樹種を科学的な方法で同定し、「人と木の文化」を明らかにする。

■目次

- Chapter 1 適材適所、温故知新 木と対話し続ける日本人
- Chapter 2 あなたの名前は？ 樹種を見分ける
- Chapter 3 何の木から作られた？ 日本の仏像
- Chapter 4 何の木から作られた？ 日本の神像 ほか



◆日本の美仏図鑑

帆足てるたか撮影・大角 修監修・A4判・127頁・2,200円〈二見書房〉

「飛鳥時代の釈迦如来と薬師如来像」「奈良時代の変化観音像」「平安時代の密教像」といった、その時々で移り変わる仏教の信仰を紐解きながら、それを背景に登場した様々な仏像をピックアップして解説します。

■目次

PART-1 飛鳥白鳳・天平の至宝

PART-2 平安の至宝

PART-3 鎌倉の至宝



隔週刊古寺行こう

◆神護寺 高山寺 13

◆知恩院と東山の名刹 14

各A4変判・42頁・770円〈小学館〉

神護寺 高山寺 13……空海と最澄が修行に明け暮れた神護寺、夢日記で有名な明恵上人ゆかりの高山寺それぞれの寺宝や歴史を掘り下げます。

知恩院と東山の名刹 14……仏教を根本から変えた“専修念仏”を広めた法然の遺徳に迫りつつ、間口45mを誇る堂々たる建築・御影堂の見どころを徹底解説。



法 蔵 館 書 店 新 着 雑 誌 案 内

◆同朋 10月号

〈東本願寺出版〉

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・400円

生活に密着した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにある大切なことを見つめる月刊誌。

■目次

◎インタビュー 木村文乃さん(俳優)

愛とは、ちゃんと相手を見ること。

◎特集 食がつなぐもの

・親鸞万華鏡……ゲスト:木本 伸さん

・東本願寺界限 今昔物語

……「丹治蓮生堂」 ほか

◆大乘 10月号

〈本願寺出版社〉

大乘刊行会編・B5判・88頁・375円

門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむための月刊誌。お念仏のよろこびをご家族のみなさまにお届けします。

■目次

・ご機言!お寺の掲示板……江田智昭

・釈徹宗の随縁探訪……ゲスト:後藤明信さん

・マンガ お釈迦さま物語「ピンビサーラの帰依」

……岡橋徹栄×一ノ瀬かおる

・教えて!浄土真宗「二種深信と信疑決判」

……藤澤信照 ほか

特集1 報恩講に向けて

今年も報恩講の季節がやってきました。入門書から専門書まで、関連書籍のご紹介です。

◆親鸞伝の史実と伝承

草野顕之著・四六判・249頁・2,090円(6271)

何が史実で何が伝承なのか？ 人々は親鸞のどのような姿を後世に伝えようとしたのか。伝承を史実に照らし合わせることで、親鸞伝の諸相を明らかにする。

※詳しくは2頁をご覧ください。

最新刊



〈やさしい解説〉

◆親鸞聖人 御絵伝

福田正朗著・A4変判・16頁・550円

親鸞聖人の生涯を描いた「御絵伝」に何が描かれているのかを、A4判オールカラーでわかりやすく解説したロングセラー。お配りものに最適の冊子です。

(8714) [法蔵館]



◆親鸞聖人御絵伝DVD

岡村喜史監修・45分・4,950円(本願寺出版社)

本願寺史料研究所の岡村喜史先生が、親鸞聖人のご生涯とご事蹟、『御絵伝』各場面の要点や歴史的背景などを簡潔に解説したDVD。



◆親鸞聖人と報恩講

名古屋御坊編集部編・A5判・70頁・800円(真宗大谷派名古屋別院)

『名古屋御坊』新聞掲載記事を再編集し、「親鸞聖人」と「報恩講」について、わかりやすくまとめられた一冊。フルカラー、イラスト掲載で読みやすく、初めての方にもおすすめです。



〈『伝絵』を深掘り〉

◆大系真宗史料 伝記編2 御伝鈔注釈

真宗史料刊行会編・A5判・470頁・9,900円(5052) [法蔵館]

江戸時代に書かれた『御伝鈔』の注釈書、「御伝鈔聞書」「御伝鈔私記」「御伝照蒙記」「御伝鈔演義」を収録。解題、解説付き。近世における真宗門徒の信仰内容を探る。



◆大系真宗史料 特別巻 絵巻と絵詞

真宗史料刊行会編・B4判・248頁・35,200円(5050) [法蔵館]

第一部では親鸞伝絵の主要五本をはじめ重要文化財指定の真宗関係の絵巻を全巻カラー、第二部では絵詞の代表的古写善本の全文をモノクロで掲載。初公開品多数。



◆2022年安居次講 『親鸞聖人伝絵』考察

東館紹見著・A5判・180頁・4,400円(東本願寺出版)

『伝絵』の著者・覚如上人の生涯から、『伝絵』の構成と諸本の特徴、制作の意図などを考察する。



法要の勤行・拝読に

・報恩講勤行集 東本願寺式務部校閲・15.0×11.3cm 和綴本・5,060円(9206)

寺院用・拝読文、荘厳、装束、勤行式次第など。

・門徒報恩講勤行集 東本願寺式務部校閲・15.0×10.5cm 洋綴本・286円(9207)

門徒唱和用。正信偈、念仏和讃など、ふりがな付。

・御伝鈔 卷子本全2巻

野間佳裕拝読・解説・稽古用CD、別冊解説付・特製桐箱入り・軸長33cm・79,200円(9806)

稽古用CD 上・下2枚組 5,500円(9811)

・報恩講式・嘆徳文 ひらがな延べ書き卷子本全2巻

藤原暢信拝読・仁科和志、藤沢善夫伽陀・稽古用CD付・特製桐箱入り・軸長32cm・52,800円(9805)

稽古用CD 3,300円(9810)

特集2 宗教問題再考

カルトや宗教2世問題など、宗教のあり方が改めて問われる現在、これらの問題をどう考えるべきなのか？

法蔵館文庫

◆ポストモダンの新宗教

——現代日本の精神状況の底流

島蘭 進著・文庫判・352頁・1,320円(2621) [法蔵館]

70年代以降に急成長した「新新宗教」の特徴を解説し、日本・世界の宗教状況とリンクさせることで、現代宗教論に一つの展望を与える。



◆なぜ人は カルトに惹かれるのか

——脱会支援の現場から

3刷

瓜生 崇著・四六判・214頁・1,760円(8779) [法蔵館]

カルトを非難する我々も、彼らとは違う「正しさ」を盲信してはいないか。カルト信者＝狂信者というステレオタイプの見方に警鐘を鳴らし、脱会者への温かい眼差しとともに、脱会とは迷いながら生きる勇氣を持つことと語る。



◆カルトの子

——心を盗まれた家族

米本和広著・四六判・314頁・2,420円 [論創社]

ごく普通の家庭にカルト宗教が入り込んだとき、子どもはどんな影響を受けるのか。教団のなかで、家庭で、何が起きているのか。神の子などと呼ばれながら、心に傷を負った子どもたちが、自分の言葉で語った壮絶な記録である。



お知らせ

中外日報「宗教文化講座」

法藏館書店 協賛

テーマ：「生死の苦海を渡る——生誕850年記念 親鸞聖人に聞く」

第3回
リモート可

10月8日(土)「時代を生きた親鸞」

〈京都テルサ(京都市営地下鉄烏丸線九条駅九条4番出口、西へ徒歩5分)・定員：168〉

大阪大学・京都先端科学大学名誉教授 平 雅行氏

第4回
リモート可

11月26日(土)「比較思想から見た親鸞聖人」

〈京都テルサ(京都市営地下鉄烏丸線九条駅九条4番出口、西へ徒歩5分)・定員：168〉

相愛大学学長 釈 徹宗氏

※受講申し込み・お問い合わせ → 中外日報社営業企画部

〒601-8004 京都府京都市南区東九条東山王町9番地

TEL:075-682-1625 FAX:075-682-1722 Eメール:shuppan@chugainippoh.co.jp

希望する講座、氏名、年齢、住所、電話番号をご記入の上、ハガキ、FAX、メールでお申し込みください。

●受講料は1講座1,000円(税込)、リモート参加も同額

※リモート参加(Zoom)のお申し込みは、中外日報社上記のメールアドレスに「リモート参加」と明記の上、希望する講座、氏名、住所、メールアドレスをお知らせください。

招待券プレゼント!

中外日報宗教文化講座へ
3名様ご招待。

- 応募条件 法藏館書店へ招待券を取りに来られる方。
 - 締切 11月20日(日)23時59分到着分まで。
 - 応募方法 メール(p@hozokan.co.jp)で表題を「招待券希望」とし、お名前、e-mailアドレスを記載しご応募ください。
- ※招待券1枚につき全2回ご参加いただけます。(リモート参加も可)
※抽選の上、当選者様にメールにてお知らせいたします。

日本書籍出版協会 京都支部 第17回 文化講演会

講演「板木の諸相——近世出版における板木の役割」

講師：立命館大学准教授 金子 貴昭氏

■日時 11月12日(土)

14:00~15:50(受付開始 13:00)

■会場 ひと・まち交流館 京都

京都市下京区西木屋町通上ノ口上の梅湊町83-1

- ・京都市バス4, 7, 205系統「河原町正面」下車
- ・京都市営地下鉄烏丸線「五条」下車、徒歩10分
- ・京阪電車「清水五条」下車、徒歩8分

お申し込み方法

インターネットのお申し込みサイト
www.hozokan.co.jp/ebent/

QRコードはこちら →

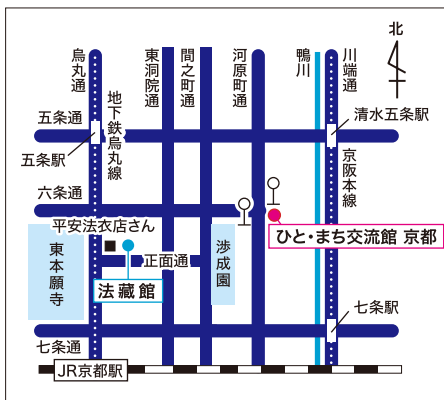


金子貴昭先生 関連書(法藏館刊)

『近世出版の板木研究』

A5判・318頁・8,250円(6223)

受講料無料 定員150名



※詳しくは法藏館書店まで

◆◆◆法藏館書店売行ベスト10(9月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	地獄と浄土、どちらへ行きたいですか?——私が私から解放される世界	瓜生 崇	サンガ伝道叢書	550円
2	親鸞 左訓・字訓・語訓辞典	田代俊孝	法藏館	3,300円
3	生死出づべき道——コロナの時代、私たちはいかに生きるべきか	一楽 真	真宗大谷派 大阪教区第十二組	200円
4	親鸞聖人と報恩講	名古屋御坊 編集部	真宗大谷派 名古屋別院	800円
5	中国注疏講義——経書の巻	古勝隆一	法藏館	1,980円
6	2022年安居本講『親鸞聖人伝絵』考察	東館紹見	東本願寺出版	4,400円
7	ほんとうの幸せ——出遇い	三明智彰	越後量深学場	440円
8	赤光 2	福間義朝	探究社	1,430円
9	赤光 3	福間義朝	探究社	1,430円
10	仏教の大東亜戦争【文春新書1365】	鵜飼秀徳	文藝春秋	1,210円

【メール配信サービスのご案内】

法藏館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートにお答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<http://www.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

- ◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。
- ◆荷送料はご購入額合計により
定価16,500円(税込)未満 送料——450円 代引手数料 330円
定価16,500円(税込)以上 送料、代引手数料ともに無料
- ◆価格表示は全て税込価格です。

法藏館書店 友の会会員募集中!

友の会に入会すると、割引や来店特典など多数の特典をご用意しております。

詳しくはここをクリック 





法藏館書店

住 所:〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
電 話:075-343-0458 FAX:075-371-0458
発行人:西村明高
E-mail:shop@hozokan.co.jp

<http://www.hozokan.co.jp>

仏教の風

検索



— [営業日および営業時間] —

月～土: 9:30～18:00
祝 日: 10:30～18:00
(休業日:毎週日曜日・お盆・年末年始)

法藏館ブログ「編集室の机から」を更新中!

twitter

facebook

つぶやき中~!